

平成25年度 第1回
魚沼市人権教育・啓発推進計画策定委員会会議録

日 時	平成26年2月25日(火) 13:40~15:30
場 所	小出庁舎 302会議室
出席委員	星野会長、秋山委員、星野委員(代理:吉田良子)、細井委員、 星野委員、井口委員、下村委員、伊藤委員、小野塚委員、今井委員、 橘委員
欠席委員	小川委員、高橋委員、関矢副会長
事務局	星市民課長、山内市民生活室長、市民生活室坂大主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会あいさつ 2 委嘱状の交付 3 委員自己紹介 4 会長・副会長の互選について 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 人権教育・啓発推進計画の策定方法について (2) 人権に関する意識調査について (3) 今後の日程について 6 その他 7 閉会
委員会結果 (概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・会長に星野修美委員、副会長に関矢幸子委員が決定した。 ・議事(1) 人権教育・啓発推進計画の策定方法について承認した。 ・議事(2) 人権に関する意識調査について検討した。 ・議事(3) 今後の日程について承認した。

○委員会の内容(要点記録)

- 1 あいさつ (星市民課長)
- 2 委嘱状交付(各委員に交付した。)
- 3 委員自己紹介(各委員がそれぞれ自己紹介を行った。)
- 4 会長・副会長の互選について
(事務局) 魚沼市人権教育・啓発推進計画庁内検討委員会設置要領第5条により会長、副会長を互選したいと思います。立候補者はいますか。(立候補者なし)
推薦者はいませんか。
(委員) 知識も経験も豊富な星野修美委員に会長をお願いしたい。

(事務局) 星野修美委員で異議はないか。(一同、異議なし)

(事務局) 副会長の推薦者はいませんか。

(委員) いろいろな方面で活躍されている関矢幸子さんを推薦します。

(事務局) 関矢幸子委員で異議はないか。(一同、異議なし) 会長に星野修美委員、副会長に関矢幸子委員が決定しました。

5 議事(進行:星野会長)

(1) 人権教育・啓発推進計画の策定方法について

(事務局) 資料2及び資料3に基づき説明

(会長) 質問ならびに意見はないか。

(委員) 県内の計画策定状況はどうなっているか。

(事務局) 平成25年12月現在、南魚沼市、十日町市が策定準備中。上越管内、長岡市は策定済で、小千谷市は未策定となっている。策定済は県下7市町村。

(委員) 近隣で全く計画に着手していないのはどこか。

(事務局) 魚沼市、湯沢町、小千谷市である。

(委員) 以前、柏崎市推進計画策定委員として携わった。柏崎市にも被差別部落があったが、知らないと言う委員もいた。鵜川と鯖石川があり、渡しが存在し、当時渡し舟が廃止されていたので差別は存在していないと認識していた。地元の方はその話題に触れること自体、汚らわしいという感覚で人間でないと言わんばかりな痛烈な印象を受けた。えんま市の由来は被差別部落と縁が深い。柏崎は県内でも有数の被差別部落を抱えている。人権に大きく関わっていることで取り組みをお願いしたい。魚沼における差別問題について意見交換していきたい。

(委員) 策定委員会の想定開催回数と開催時間について聞かせてもらいたい。

(事務局) 平成26年度において4回程度開催したいと考えている。会議の開催時間は午後で調整したい。

(会長) 4回で片付けることが出来ないかもしれない。委員会の中で分野別(ワーキンググループ)に小分けして検討することもあり得る。中味をいい加減にする訳にはいかないので、臨機応変に対応願いたい。

(事務局) 設置要綱第6条第2項の規定により、委員以外の方からオブザーバーやアドバイザーとして出席頂くこともある。市職員(管理職対象)向け研修会を開催する予定であり、委員からも参加願いたい。

(委員) 管内におけるDV発生件数はどのような状況か。また、いじめの件数はどれくらいか。深刻な状況があれば教えてもらいたい。人権同和センターの方から出席頂き、話を伺う形もいいのではないか。

(事務局) 市内のDV支援措置申出件数は昨年2桁で、今年は3~4人。管内における児童虐待対応件数は49件。不登校もある。緊急課題として管内は自殺率が高く、避けて通れない状況にある。

(会長) 事務局で示した策定方法、スケジュールについて異議はないか。(一同、異議なし) 議事(1)は事務局案のとおり決定しました。

(2) 人権に関する意識調査について

(事務局) 資料4に基づき説明

(会長) 質問ならびに意見はないか。

(委員) 無作為抽出は年代毎などにどのような方法で行うのか。答える際は年代ではなく〇〇歳と具体的に書いて貰った方が良いのではないか。分析方法の細かい所について教えてほしい。

(事務局) 地域、年代などの区分で按分して抽出しているので、片寄ることはないと思う。市の総合計画策定時の市民アンケートでも同様の方法を取ったが、千人抽出するとそのアンケート結果はかなり精度の高いものとなるそうである。

(委員) 問4と問5は関係が深いが、どんな人権が侵害された時にどのような所に相談をするか、表のなかで関連がわかった方が集計・分析や今後の対応ができるのではないか。

(事務局) 言われるとおりの表だと連動した見方は見えてこない。委員のみなさんが設問内容を検討した方がよいというのであれば、見直していきたい。

(委員) 問5のところで、感じる人権侵害のレベルによってどういうところに相談するかが違ってくるので、答えにくい設問だと感じた。

(事務局) 問4、問5はどのような設問の形が取れるか持ち帰って検討し、修正できるかどうか検討したい。修正した内容については委員の皆さんにまたお示ししたい。

(委員) インターネットに関する設問があるが、50代以上の人はどの程度インターネットをやっているのか調査した結果はあるのか。

(事務局) 市として調査した結果があるのかは不明。市のホームページを見られないというお叱りをいただくこともある。割合は少ないと思われる。

(委員) どの程度インターネットをやっているかを併せて調査することはできないか。

(事務局) 設問を追加して把握したいと思う。

(委員) 外国籍住民は当市にはどれ位いるのか。

(事務局) 昨年の7月時点で170人から180人の間、世帯数は約80世帯です。

(会長) 在日韓国人の方はどれ位いるのか。

(事務局) 20人位です。

(会長) 住民登録はしていなくても観光等で多くの外国人の方が市に入って来られるので、そういう方たちも視野に入れた計画にしていきたい。

(事務局) わかりました。

(委員) 問13で「障害のある人も一緒に学習できる学校教育を進める」とあるが、障害のある人がいない学校もあるので、例えば「障害について学習する」などの一項目を入れてほしい。

(事務局) そのような項目を設ける方向で進めていきます。

(委員) 障害の害はひらがな表記の場合があるが、いかがか。

(事務局) あまり気を使わないで良いというご意見もある。

(委員) 行政では使い方はまちまちである。

- (委員) 直接関わりのある団体の者としてはどちらでも良いと思うが、漢字に抵抗がある人がいるのであれば、ひらがなにすれば抵抗感が少ないと思う。
- (委員) 害をかなにするのであれば本来は障害の障もかなにするべき。ただ、害の漢字のイメージが強いからかなにしている。
- (会長) 特に決まりは無いようですので、今の議論を含めて事務局にお任せする形にしたいがいかがか。(一同、異議なし)
- (委員) 9ページに同和問題で就職や結婚に差別を受けるとあるが、問17には結婚のことだけ触れているので、就職における身元調査などにも触れてほしい。
- (事務局) そのように検討します。
- (委員) 問2で、回答を選んだ理由を、差し支えなければ、ということで記入してもらったらどうか。
- (事務局) そのようにします。
- (委員) 各回答の集計を、すべてにわたって性別、年代、地域ごとに細かくグラフで示せるか。
- (事務局) 可能である。
- (会長) 何点かご意見が出ましたが、事務局で委員の要望を整理、検討して、今週中にまとめていただきたい。
- (3) 今後の日程について
- (事務局) アンケートについては修正箇所があれば今週末までにご連絡をいただきたい。次回の委員会は5月下旬に開催する予定です。
- (会長) 只今の日程で異議はないか。また意見等はないか。(一同、なし)
- 以上で第1回策定委員会を終了します。